

はーと・シップ

「はーと・シップ」はハートフルシティとパートナー・シップを合わせて小野市の男女共同参画を表す愛称としています。

Vol.27

2015.8

のぞいてみよう！
パパの日常



特集【インタビュー】

『これからの男子の生き方、居場所を考える』

パパサークル

「本気であそぶ

おとうさんの なかまって え～やん “one”

の4名に聞きました。



寄稿

「今、パパたちが熱い！」

小崎恭弘さん

(大阪教育大学教育学部 准教授

NPO 法人ファザーリング・ジャパン 顧問)



□企画・編集／はーと・シップ編集委員会

□発行／小野市

ボランティアが集まって作っています！

これからの男子の生き方、居場所を考える

今年度の小野市男女共同参画センターのテーマ『男性および子どもにとっての男女共同参画』にもとづき、ふだんの家庭でのコミュニケーションの実態をのぞいてみよう、小野市うるおい交流館エクラで開催された講座がきっかけで結成されたパパサークルの男性4名にインタビューを行いました。

子どもたちとのふれあいで大切にしていることは？



自分が子どもの頃、親の険しい顔を見るのはイヤだなと思った経験があるので、自分は常に笑顔でいることを心がけています。

「乳児期は肌を離すな、
幼児期は肌を離せ、手を離すな。
少年期は手を離せ、目を離すな。
青年期は目を離せ、気持ちを離すな。」
という言葉が常に心に置いて子どもと関わるようにしています。

子どもが望むだけ抱っこをします。また、一緒に畑に行ったり、身体を使ったダイナミックな遊びを積極的にしています。

料理が好きなので、子どものお弁当を作ることでコミュニケーションをとるようにしています。特にキャラ弁を作った日は、子どもとの会話が盛り上がります。



家族とのコミュニケーションで気をつけていることは？



自分の気持ちを言葉にする事は苦手ですが、妻には常に何らかの形で感謝の気持ちを伝え続けていきたいと思っています。

子どもも巻き込んで、“笑う”ことを心がけています。

仕事上、妻とはほとんど一緒にいます。だからこそ、常に会話をし、お互いのやりたい事を尊重し合うよう心がけています。

挨拶をきちんとするように心掛けています。
妻との雰囲気が良くないと感じる時は、冷静になって少し距離をおくようにしています。



Aさん 40代
「家族のムードメーカー」



Bさん 30代
「家族のブースター」



Cさん 50代
「家族のゆるキャラ」



Dさん 30代
「家族の風紀委員長」

家庭内での自分の役割についてどう思っていますか？



小さな良い所を見つけ、それを大きな喜びに変えられる、家族の「変換器」のような存在でいたいと思っています。



妻が笑顔でいる事が子どもの幸せに繋がると思うので、自分は妻を癒す存在でありたいと思っています。

父親の雰囲気でも家の空気が変わることもよくあると思うので、常に笑顔で大切にし、家族を盛り上げる存在でありたいです。

また、自らが色々な事に挑戦する姿を見せることで、子どもたちの挑戦する心を育てるような、そんな存在でいたいと思っています。

将来、社会で絶対必要である「礼儀作法」を子どもたちに教えることが、自分の役割のひとつだと思っています。



今、パパたちが熱い！



寄稿：小崎恭弘さん

(大阪教育大学教育学部准教授
NPO法人ファザリング・ジャパン顧問)

イクメンが流行語大賞をとってから数年が経ちました。皆さんの周りにイクメンは増えましたか？最近ではベビーカーを押しているパパや、赤ちゃんを前抱きで買物しているパパたちもよく見かけるようになりました。イクメン、育児を積極的にするパパたちの存在が、当たり前の風景になりつつあります。

パパ向けの講演会やパパたちのイベントを開催して、本当に多くのパパたちと出会いいろいろなお話をする中で、すごく熱心な思いを聞くことが増えており、とても驚かされます。

「子どもが可愛くて仕方がないです！」
「この子とずっと一緒に過ごしたいので、一年間育児休暇を取っています！」
「仕事が忙しくて子育てできないので、仕事やめました！」
少し前にはとても考えられないようなことばかりです。そしてそんな思いを、熱く語ってくれるパパたちは、みんなとてもいい面構えです！

「子どもと家族と共に生きていく」という、強い意志をそれぞれに感じさせてくれます。素晴らしいことだと思っています。素晴らしいことだと思えます。素晴らしいことだと思えます。素晴らしいことだと思えます。

ていねいなコミュニケーションが大切だと思えます。しかし家族さえ大切でいいと思えない動き方、生き方が決まってしまうと思いません。そのように考えると、子どもや家族を優先して生きていくパパたちの姿は、これからの新しい生き方であると言えます。

そんな頑張っているパパたちですが、たった一人で子育てをしていくことはなかなか大変です。時には悩んだり迷ったりすることもあります。

これは全くママたちと一緒に頑張るべき、というか、子どもを育てることに懸命になればなるほど、わからなかったり戸惑ったりすることは当然増えていきます。それが子育てです。

そんな時に頼りになるのが「パパ友」の存在です。同じ男性として、同じパパとして、時には友として戦友として。身近なパパ友はとても心強い存在です。

少し前までは、パパ友の存在はほとんど見られませんでした。イクメンが増え、子育てに関わるパパたちが増える中で、共に子育てを楽しむ共感する仲間作りが今求められています。

パパ友はこれからの時代の新しいパパネットワークです！パパたちみんなと一緒に子育てを楽しみましょう！



事業報告

講演会「中高年の危機～更年期を乗り越えるには～」

【講師】石蔵文信さん(大阪樟蔭女子大学 健康栄養学部 健康栄養学科教授)



循環器科専門医として、中高年に多いメンタル疾患と生活習慣病などを「男性更年期障害」として診察するための外来を持たれ、『夫源病』という言葉の生みの親である石蔵文信さんの講演会を開催しました。

中高年男性が抱える悩み、夫が定年を迎えた夫婦の生活実態、妻と夫の考え方の違い、更年期やストレスとの上手な付き合い方などについて、アンケート調査の結果や、外来での経験をもとに、非常に説得力のあるお話をいただきました。

また、ご自身が実践されている家事や孫育てをはじめ、夫婦関係を良好に築くためのコツも紹介され、「まずは自分が出来る範囲からはじめてみるのが大切」とアドバイスいただきました。

男女お互いが自立した生活を送ることで、それぞれの精神的な負担が減り、それが「心の健康」を保つ秘訣であるということを知ることができました。

ユーモアを交えての楽しい講演は、会場からの笑い声も聞かれ、あっという間の2時間でした。

セミナーインフォメーション

■ 講演会

11月1日(日) 「生まれてきてよかったと思える社会に」

13:30～15:30

子どもや女性に対する暴力防止への理解を深めます。

【講師】有園 博子さん(兵庫教育大学大学院 臨床心理学教授)

■ 就業支援セミナー

11月15日(日)

10:00～12:00

ママのための「あなたの魅力を引き出す極上笑顔レッスン」&

10:00～11:30

パパのための「パパと子どもで楽しくすごそう ホリデー絵本あそび」

ママの魅力をさらに引き出し、パパも子どももハッピー！な講座を開催。

【講師】浅井千華子さん(スマイル&ボイスコンサルタント・ラジオ関西パーソナリティ)

【講師】和田 憲明さん(NPO 法人ファザーリング・ジャパン関西 副理事長)

無料相談窓口案内

◎市外の相談窓口もご利用いただけます。

実施機関	種類	所在地	電話番号	実施日時
小野市男女共同参画推進グループ	女性のための相談	小野市中島町72 小野市うるおい交流館エクラ内	電話相談 <small>随時</small> 0794-63-8250	木曜日 9:30～11:30
			面接相談 <small>予約制</small> 〃	木曜日 13:00～16:00
※託児ご希望の方は、ご相談ください。				
北播磨総合医療センター	女性のための医療専門相談	小野市市場町926-250 北播磨総合医療センター内	面接相談 <small>予約制</small> 0794-88-8800	木曜日 13:30～16:00
小野市ヒューマンライフグループ	いじめ等相談 (ONODまわりほっとライン)	小野市役所内	電話・面接相談 <small>随時</small> 0794-62-4110	月～金曜日 9:00～17:00
兵庫県立男女共同参画センター	女性のためのなやみ相談	神戸市中央区 東川崎町1-1-3 (神戸クリスタルタワー7階)	電話相談 078-360-8551	月～土曜日 9:30～12:00 13:00～16:30
			面接相談 <small>予約制</small> 078-360-8554	月～金曜日 11:00～18:40 土曜日 9:20～16:50
	男性のための相談	電話相談 078-360-8553	原則第1・3火曜日 17:00～19:00	
兵庫県「悩みのほっとライン」	女性のための悩み相談	—	電話相談 <small>随時</small> 078-732-7700	毎日 9:00～21:00
日本司法支援センター(法テラス)	法的トラブルに関する情報提供	—	電話番号 0570-078374	平 日9:00～21:00 土曜日9:00～17:00

編集後記

今年の男女共同参画センターのテーマは『男性および子どもにとっての男女共同参画』ということで、今回、パパに家庭での様子をインタビューし、お届けしました。

私も2児の父親として、長男が小学校のころ彼との関わりについて悩んでいました。悩む中で、自分の関わり方が子どもたちの将来に大きな影響を与えることを感じて、心理学を学ぶようになりました。学べば学ぶほどに子どもへの接し方の間違いを痛いほど気づかされました。講座を受けながら涙したこともありました。

今回のインタビューでそんなことを思い出し、お父さんはお父さんなりに一生懸命家庭での役割を考えて努力されているのだと改めて感じました。その努力がご家族に伝わることを切に願います。

紆余曲折を経て今、人生は面白い！

本誌に対するみなさまの率直なご意見や感想をお聞かせください。ハガキ、ファックス、Eメールで受付しています。

■事務局 小野市男女共同参画センター(特定非営利活動法人 北播磨市民活動支援センター)
〒675-1366 兵庫県小野市中島町72番地 小野市うるおい交流館エクラ
TEL: 0794-62-6765 FAX: 0794-62-2400
URL: <http://www.ksks-arche.jp/danjo/> E-mail: danjo@ksks-arche.jp